

## 市長と地域の懇談会【修道】

・開催日時 令和2年9月26日（土） 19：00～20：00

---

・まちづくり協議会区域名 修道まちづくり会

---

・会場 修道小学校 視聴覚室

---

・参加者 13人

---

### 《質問・意見》

- ・コロナと言い過ぎる。インフルエンザと対比して、あまり怖がらなくていいという情報も出してほしい。コロナ感染者は人口比率からすればほんのごくわずか。心安らげるような資料を作って出してもらいたい。
- ・現在いろいろな産業関係が冷え込んでいる。藤田医科大学から低濃度オゾンの有効性が出された。オゾンの機械を導入して、零細企業に普及させて、感染対策を行っていることをアピールできるように考えてもらいたい。
- ・これまで避難所はコロナなどの感染症について考慮してこなかった。修道小学校は収容人数200名のところ100名しか入れない。今後の対策について指針を出してもらいたい。

### 《回答》

- ・伊勢病院の総合診療内科の谷崎先生は感染症のことにも詳しい。先生に相談して広報の仕方を考えていきたい。
- ・避難所の感染症対策も大事なテーマである。市役所で8月に訓練をして実際にトレーニングしてみた。一般的な避難所開設にあたっては、職員が出向いて準備できるようになっている。

### 《質問・意見》

- ・以前、五十鈴中学の付近で不審者が出たので防犯カメラの設置を提案したことがあるが、個人情報の問題で立ち消えになってしまった。住宅地は立てにくいと思うので、五十鈴中学校や修道小学校の表玄関や裏門に設置してはどうか。まず学校での対策をしてから、市民の住宅地へも導入していくということを考えてみてはどうか。

### 《回答》

- ・防犯カメラを公共の市道に設置することは、プライバシーの侵害にあたり最高裁の判決で出てしまっている。全国的に付けたくても付けられない状況もある。今回、三重県で防犯カメラ設置に関するガイドラインを作ってもらった。小中学校での設置については、皆で話し合い、きっかけになるのであれば考えていきたい。

#### 《質問・意見》

・桜が丘に空き家が増えている。持ち主が不在のまま放置されていて雑草が生えてきている。そのため付近の住民から、蚊や虫が増えているという苦情が寄せられている。他人の敷地に入る訳にいかないのに放置しているが、持ち主の連絡先を教えてもらえるのか。

#### 《回答》

・市（住宅政策課）に連絡してもらえれば、市が土地の所有者を調べ市から連絡します。

#### 《質問・意見》

・旅行会社を経営している。完全に売り上げがゼロになった時期があるが、Go To キャンペーン等のお陰で少しずつ個人旅行客は増えている。団体客はまだ来ない。コロナは少しずつ落ち着いてきている。批判があるかもしれないが、政府や官公庁、自治会などから、コロナはインフルエンザと同じように考えればいいと言ってもらえたら、経済界は喜ぶと思う。感染者の数は公表する必要がないのではないか。

・古市の資料館は避難所に指定されていない。市役所に確認したら、人手が足りないから開設が難しくなっているようだ。近場で一時的な避難場所を作ってもらいたい。

#### 《回答》

・避難のあり方は、年々考え方が変わっている。災害のあり方が変化し、高齢化などに伴って非難のあり方も変化している。これまでは避難所オンリーだったが、自宅で垂直避難、安全なら隣へ避難するなど、人間関係を作っていく必要がある。国でも議論していることなので、参考にさせていただきたい。

#### 《質問・意見》

・月読台は若い現役世代で構成されている。若い人に役員や自治会長になってもらう際にネックになることは、書類を提出するため平日の日中に市役所に行かなければならないことだ。そのために有休を取ってもらうことになり、仕事をしている若い人に役員をお願いしにくい状況だ。書類のオンライン化などを可能にしてもらえると助かる。

・防犯灯の申請についても提出書類が多いので、もう少し簡素化してもらいたい。

・経済的にも人口的にも減少傾向にある中で、市民の意識を変えていかないと共助が浸透していかないと思う。

・人口減少、少子化について、伊勢市でも結婚していない人が増えている。東京のある会社では、引き合わせるだけでなく、お世話役を付けて、その後のフォローもしているようだ。伊勢市としてもこのような取り組みが必要なのではないか。このままでは地域がもたない。

#### 《回答》

- ・申請のオンライン化は検討していきたい。
- ・婚活については、ミタスの中に相談センターを設置して実施している。雇用形態の働き方と併せてコーディネートの仕方も参考にしながら進めていきたい。
- ・市役所でも将来の担い手不足解消のための根本的な対策の検討を開始したので、大変難しい課題ではあるがともに考えていきたい

#### 《質問・意見》

- ・高齢化になり若年層が定着していない。自治会長は1年交替。60歳定年で自由になんでもできるというのは破綻している。70歳過ぎても現役なので役員を引き受ける暇がない。これから若年層をどうやって定着させるかが課題。
- ・核家族化が進んでいる。時代が根本から大きく変わっているのに対策が遅れている。このままでは伝統行事なども廃れていく。若い層にサポートしてもらえようような対策が必要なのではないか。

#### 《回答》

- ・次のお木曳について心配の声も上がっているので検討していきたい。ただ家族形態を元に戻すのは難しい。みんなでどうやって助け合うか大事な視点だ。

#### 《質問・意見》

- ・お木曳はできるのか、どうするのか。若い人がいない。中心になっていた人が誰もいない。実施できるのかどうか心配だ。桜木町も高齢化で若い人は仕事をしている。自治会の役員を若い人に引き継いでいけない。
- ・市民病院の医師は増えているのか。日赤は患者数が多いのに市民病院は空いている。患者が集まる市民病院にしてほしい。

#### 《回答》

- ・平成25年は34名まで減ったが現在は52名。医師は三重大と藤田医科大から来てもらっている。日赤と市民病院は競合しないようにしている。ドクターの数は波があるが平成19年頃のドクター数に近づいている。

#### 《質問・意見》

- ・町内会で、年2回、市営住宅の土手の周りの草刈りをしている。市が実施している草刈の日程と重なってしまうことがある。町内会が刈った直ぐ後に市が草刈りを実施するのは無駄。市の草刈の日程を事前に知らせてほしい。
- ・桜が丘から御幸道路へ出る道に新しい家ができて小学生が増えている。細い道から飛び出してくることがあるので、市道にカーブミラーを立ててもらいたい。

#### 《回答》

- ・カーブミラーは立てられない場所もあるので、一度確認させてもらいたい。

#### 《質問・意見》

・高齢化が進んでいる。70代～80代がほとんどで組長のなり手が無い。新しいアパートやマンションの住民には、自治会に加入してもらえない。加入を勧誘するのは困ると言われる。それなのに防犯灯やごみ収集などの問題は自治会へもってこられる。厳しい状況だ。

・旧消防署へ抜ける道に、アパートの敷地内の竹が市道にはみ出している。葉も落ちる。強風時には倒れることもある。組で草刈りをしてきている。維持課にお願いしたこともあるが、ゴミの不法投棄もある。対策をお願いしたい。

・倭町周辺で害鳥被害が出ている。カラスが集団で住み着いている地域もある。ごみ収集の袋を設置しているが、ネットの上からカラスが突ついて袋を破ってしまう。伊勢市全体でカラスが増えている。糞も散乱している。日本猿も町内に出没している。藤里もサルの被害が出ている。どこの自治会も苦労しているので獣害駆除をお願いしたい。

#### 《回答》

・獣害対策については、できる限りのことをやっていきたい。

#### 《質問・意見》

・まちづくりは、いろんな意見を出してもらって全員で考えていけばいい知恵も浮かぶ。今までの組織をカイゼンしていかないと長続きしない。10年前に組制度を廃止した。75歳以上の人には役を免除している。みんなで高齢者を守っていく。今までつながってきた組とか区を見直して、みんなで集まって意見を出し合う。

・建物の老朽化について、高度経済長期から50年が経ち寿命が来ている。壊すだけでなく直して長寿命化にしていく。手を加えて直して使えるものは使う。無駄にお金を使わず節約して予算は必要なところに使ってもらいたい。